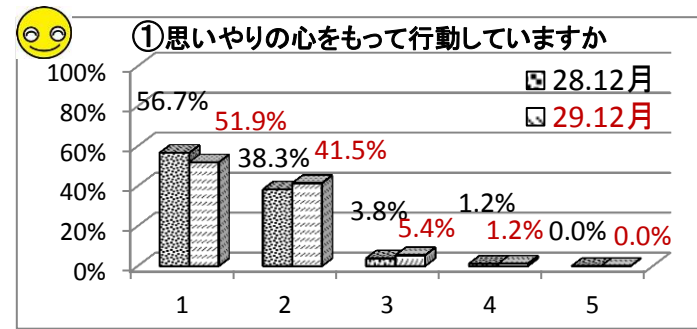
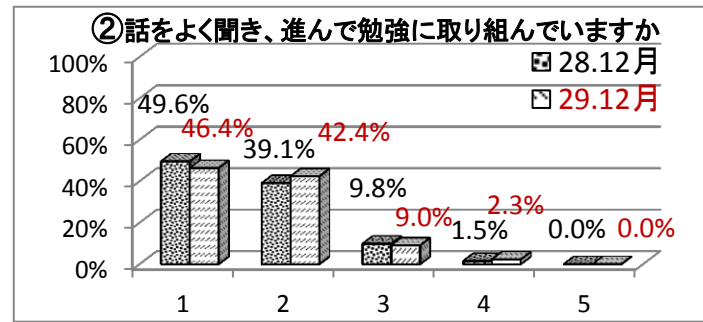




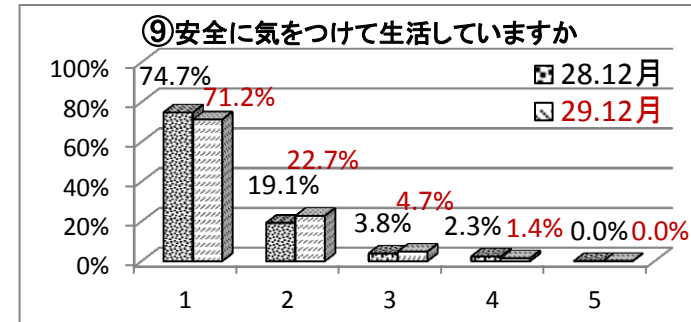
《評定について》 1: そう思う 2: すこし思う 3: あまり思わない 4: ほとんど思わない 5: わからない・判断できない
無回答



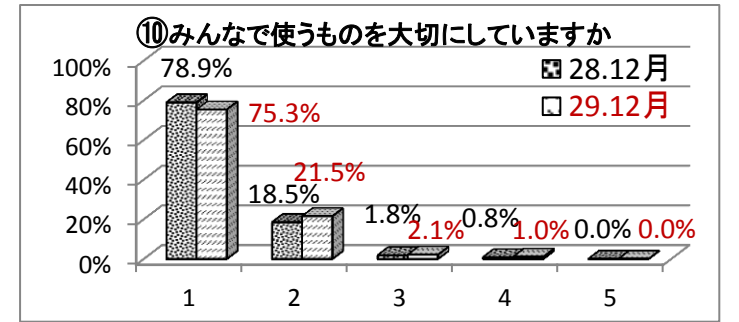
【考察1】
昨年度に引き続き、良好な回答となりました。約90%の児童が、普段の生活の中で「思いやりの心」をもって行動しているということを嬉しく思います。日々の多様な関わりの経験が、児童を心の豊かさや社会性を日々着実に育んでいることと考えます。



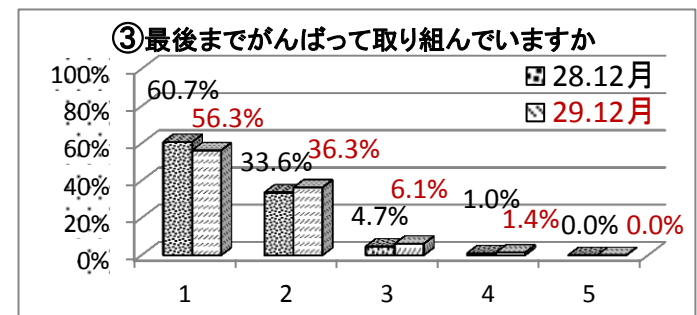
【考察2】
10%以上の児童が進んで学習に取り組んでいないという回答をしていて残念に思います。ご家庭と協力しながら、是非とも学習意欲の向上とともに学習習慣の定着を図っていききたいと思います。



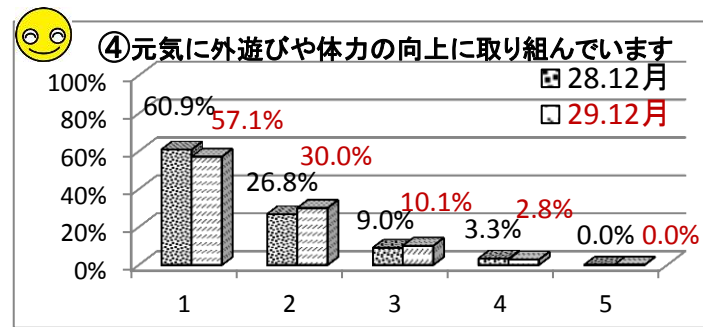
【考察9】
気をつけていても起こるのが事故です。登下校での道路の歩き方、自転車の乗り方などにも十分気をつけて、「絶対・無事故」の1年にしていきたいと思っています。



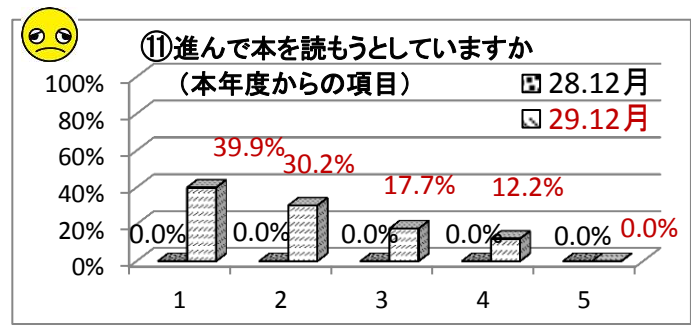
【考察10】
ほとんどの児童が「大切にしている」と回答していることを嬉しく思います。学校全体で協調した指導を行い、児童の公共心・社会性の育成に努めていきます。



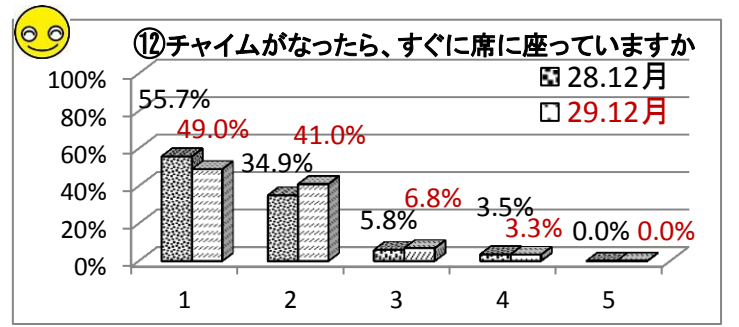
【考察3】
何事も最後までやりきることは難しいことですが、だからこそやり遂げたときの喜びは大きく、やり遂げた経験は次への活動意欲となっていきます。「努力することの楽しさ・喜び」をたくさん感じてほしいと願っています。



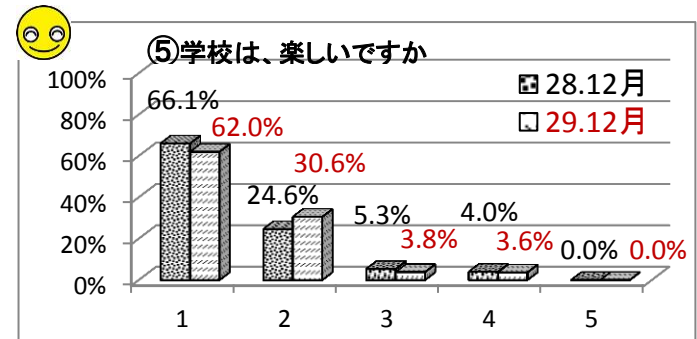
【考察4】
雪のための悪コンディションと寒さ、加えてインフルエンザの流行と、外に出てあそぶことが難しい条件もありました。それでも9割ちかくの子もたちが元気に外遊びをしていることは、すばらしいと思います。



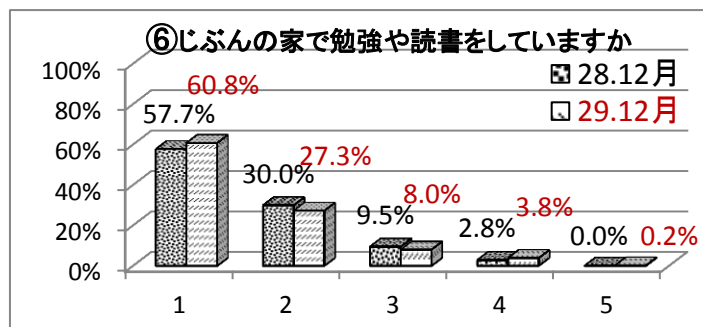
【考察11】
文章に表現したり、言葉で伝え合ったりする際に必要となってくる語彙を増やし、文章に慣れ親しむためには読書がとても大切です。本を読む楽しさを知り、自ら進んで本を手取る児童の育成に努めていきます。



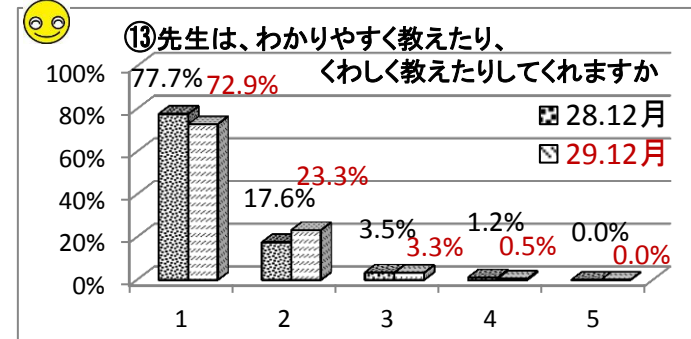
【考察12】
より良い生活習慣の定着のため、45分の学習時間の充実のために、基本となる「チャイム着席」の取り組みに、今後も目標高く100%を目指してがんばっていきます。



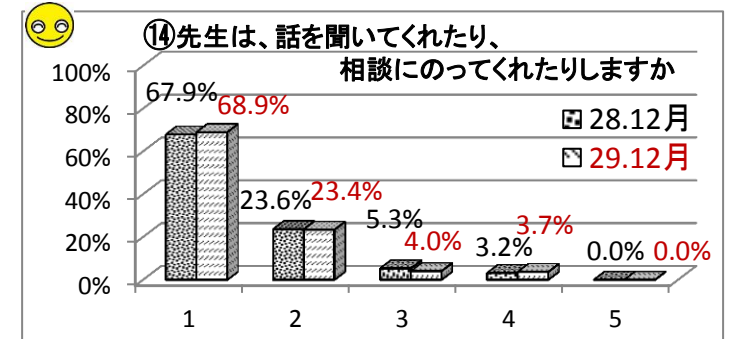
【考察5】
7%の児童が「学校は楽しい」とは答えられていないことは、学校としても課題と受け止めています。保護者と教職員の連携を密にとりながら、更なる児童理解に努めていきます。



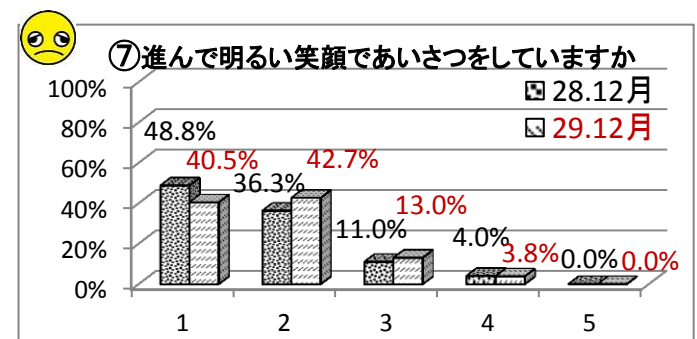
【考察6】
小学生の時期には、学習習慣の定着と勤勉性を身につけることがとても大切です。毎日の家庭学習の習慣付けとともに、読書量を増やすように今後も取り組んでいきます。ご家庭でのご協力をお願いします。



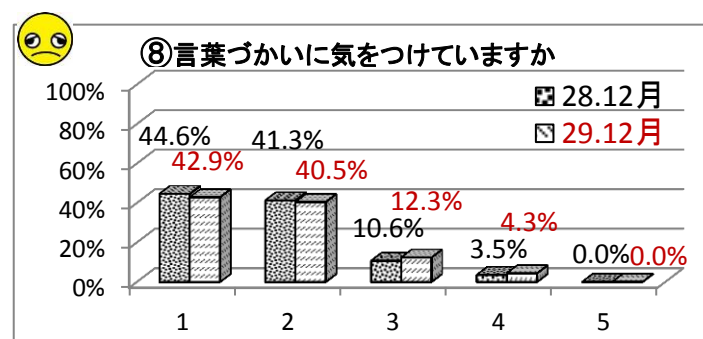
【考察13】
昨年度より、国語科の校内研究の実践を通して、教員の指導力向上・授業改善に努めてきました。9割を越える児童が「わかりやすい」と言ってくれていることは、その成果が表れていることであれば嬉しく思います。



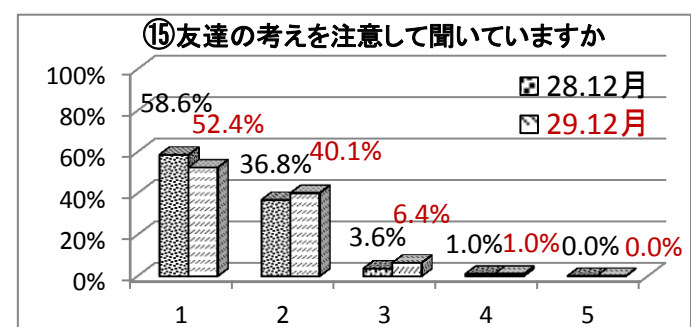
【考察14】
心のふれあい相談員、スクールカウンセラーとともに学校としての教育相談機能を高め、子供たち一人一人の心に寄り添う支援・丁寧な対応を心がけていきます。



【考察7】
あいさつは、「礼儀」「マナー」として身につける必要のあるべき態度です。また「心の活力・エネルギー」が心から湧き出てくる内なる状態を表す鏡のような面もあると考えます。「元気で明るいあいさつ」の飛び交う学校をめざして「あいさつ運動」にも取り組んでいます。



【考察8】
よりよい人間関係の構築のためには、思いやりの心とやさしさのこもった正しい言葉づかいは重要です。学校生活全体を通して「聞く・話す」指導に、今後も力を注いでいきます。



【考察15】
「話を聞く力」の重要性を日々感じています。今後も授業改善に努め、「聞く力・話す力」の育成を図っていきます。

【まとめ】
◇学習に取り組む姿勢・学習習慣の定着に、各ご家庭の協力を得ながら引き続き取り組んでいきます。
◇国語科の校内研究を通して、教員の指導力向上と授業改善に努めていきます。
◇児童の社会性を育むために、豊かで多様な関わりあいの中で、「元気なあいさつ」や「約束・ルールを守る態度」、「時と場に応じた言葉遣い」の指導に重点をおいていきます。